

つきたい力

- ・教科横断的な学習で生かされる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力
- ・学習の基盤となる言語力

取組みの概要・ポイント

- ・児童の学習状況を適切に把握し、学校組織として系統性のある学習指導を進める。
- ・学習活動での子ども同士の対話の中で探究のサイクルの具体化を図る。
- ・PDCAサイクルに沿って校内研究を展開する。

取組み資料



具体的な取組みの内容

学校組織として言葉の力を高める

学び方スキルの向上

1. 聴き方・話し方のステップ表

| ステップ | 聴き方                                   | 年 |   |   |   |   |   | 話し方                                  |   |   |   |   |   |  |   |   |
|------|---------------------------------------|---|---|---|---|---|---|--------------------------------------|---|---|---|---|---|--|---|---|
|      |                                       | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1                                    | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |  |   |   |
| 7    | 相手の立場や思い(わからない、困っている)によりそい、思い返しながらかく。 |   |   |   |   | ● |   | テーマを自分事にし、尋わっていることとわからないことを明らかにして話す。 |   |   |   |   |   |  | ● |   |
| 6    | 自分の考えを深めたり広めたりするつもりで聴く。               |   |   |   |   | ● |   | 結論から述べ、根拠を明らかにして話す。                  |   |   |   |   |   |  | ● |   |
| 5    | 自分の考えを持って比べながら聴く。(にている、ちよつとちがう)       |   |   |   | ● | ● | ● | 反応を確かめながら、区切って話す。                    |   |   |   |   |   |  | ● | ● |
| 4    | 相手がなぜそう思ったのか考えながら聴く。                  |   |   |   | ● | ● | ● | 相手が言ったことをみんなに説明する。                   |   |   |   |   |   |  | ● | ● |
| 3    | 相手の話や考えを復讐できるように聴く。                   |   |   |   | ● | ● | ● | 友達の話につなげて話す。                         |   |   |   |   |   |  | ● | ● |
| 2    | 話を最後まで聴く。                             |   |   |   | ● | ● | ● | 席の近くの人と相談する。                         |   |   |   |   |   |  | ● | ● |
| 1    | 話す人の方を見て聴く。                           |   |   |   | ● | ● | ● | 相手の方を見て聞こえる声の大きさを話す。                 |   |   |   |   |   |  | ● | ● |

学習過程において「受信→思考→発信」に重きをおき、学びを深められるようにしている。学校全体で、聴き方・話し方のスキル目標を明確にし取り組むことで、学級や担任が変わっても学び方が変わらず、年々子どもたちにスキルを積み上げることができている。

机を蓄薇型にして  
考えを交流  
(全学級で実施)

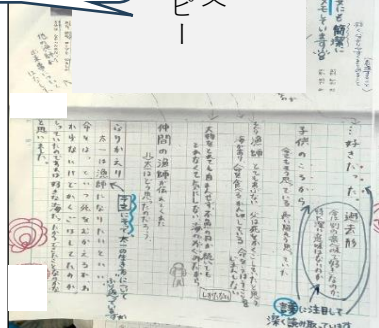
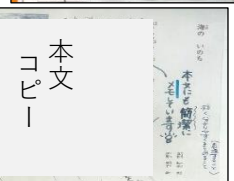
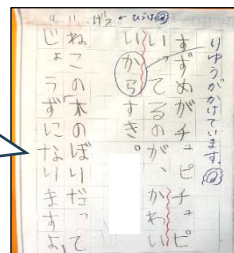


2. ノート名人

ノートの書き方や思考の整理の仕方について着目し、コメントを記入して廊下に掲示する。

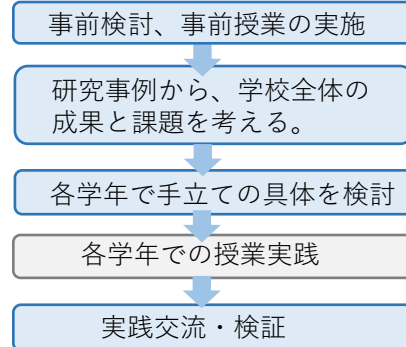
【1年生】  
叙述をもとに考えを記述している。

【6年生】  
矢印などを使って思考を整理している。



校内研究におけるPDCAサイクル

子どもの姿から授業の在り方考え、指導観の共有を図る。具体的手立てを全学級で実践し、取組みの効果について検証する。



子どもの姿から、考える。みんな実践する。実践する。みんな実践する。

書く力を高める取組み

新聞視写ワーク



子ども新聞の記事を視写する。インプットを通して適切な句読点の打ち方、文末の書き方の工夫などを学ぶ。

取組みを通しての子どもの変容

(児童アンケートより)

- ・「話のつながりを意識し、大事なことを考えて読んだり聞いたりしている」において肯定的回答が79.0%(4月)→86.5%(12月)となり、学び方の向上が見られた。
- ・「授業では、課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいたと思う」において肯定的回答が80%(4月)→85%(12月)となり、主体的に学習に取り組む力の向上が見られた。
- ・「授業では、課題解決に向けて、複数の資料・情報を関連付けて考え、記述する活動を行っていたと思う」において肯定的回答が81%(4月)→83%(12月)となり、情報を比較・関連付けながら自分の考えをまとめようとする児童が増えた。今後も、目的に応じて情報を整理・分析し、自分の考えを形成につなげることができる学習過程を大切にしていこう。